

企業の枠を越えた組織を設立し、各世代へ継続的に知ってもらう活動を行うことを提案します！

本来、建設業は生活の中で最も身近にあるものですが、入職者は減少傾向にあり、最近の「なりたい職業」には、なかなか登場しません。今は、職人の仕事を間近に見る・知る機会が少なくなっています。まずは建設業を身近に感じ知ってもらうために、各世代（未就学児→小学生→中高生→大学・社会人）へ建設業（現場）と接する機会を設けることが重要です。1企業の活動では建設業全体のイメージアップにつながりにくいのが現状で、建設業全体で継続的に取り組むべき活動です。

建設業界全体で社会教育を推進する組織を設立
～建設業☆魅力コンシェルジュ～

目的

- ◆建設業の未来の担い手を確保・育成するための社会教育を推進する
- ◆建設業界以外の各世代へアプローチする

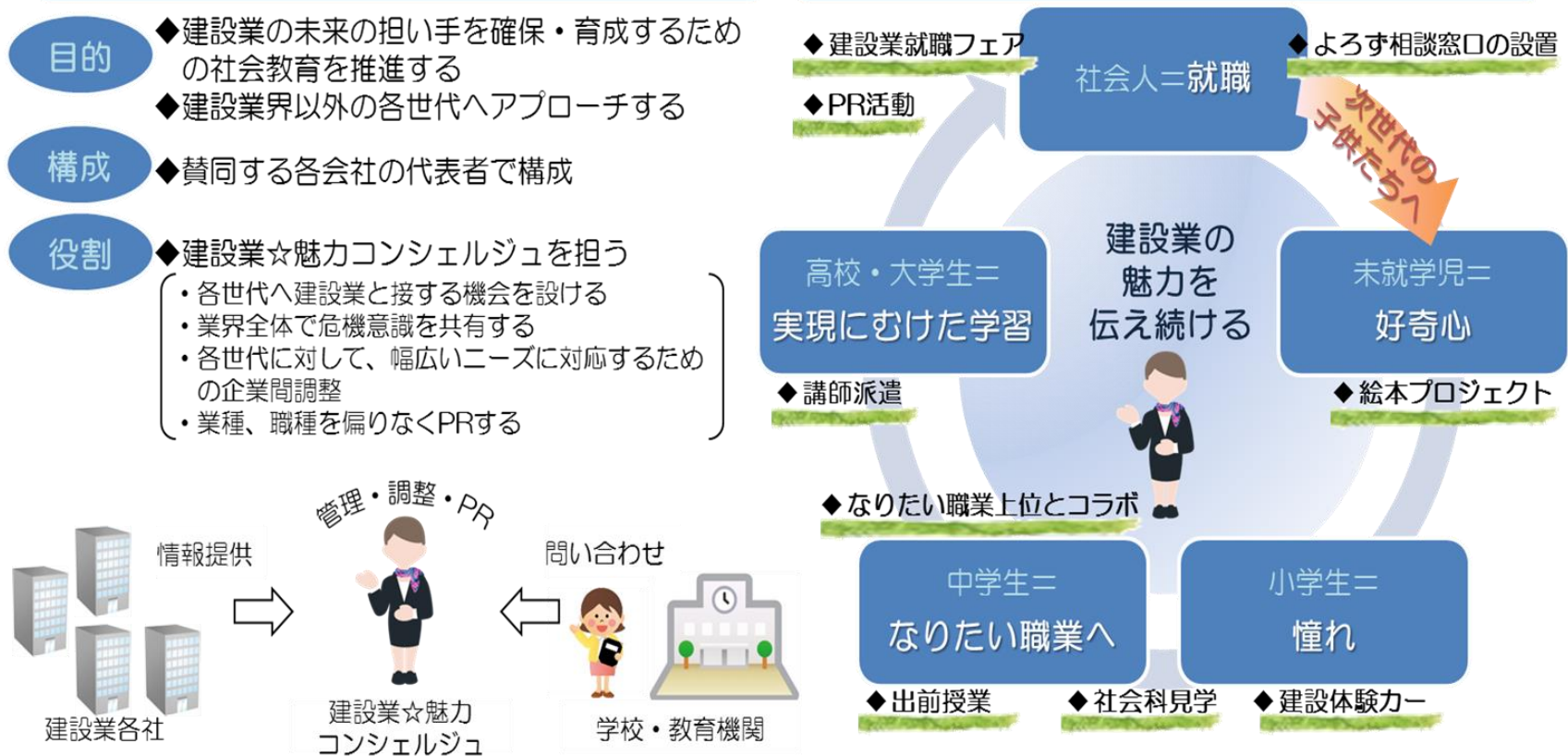
構成

- ◆賛同する各会社の代表者で構成

役割

- ◆建設業☆魅力コンシェルジュを担う
 - ・各世代へ建設業と接する機会を設ける
 - ・業界全体で危機意識を共有する
 - ・各世代に対して、幅広いニーズに対応するための企業間調整
 - ・業種、職種を偏りなくPRする

建設業を身近に感じて知ってもらうために
各世代へ継続的に建設業と接する機会を設ける



建設業を身近に感じて知ってもらうために 各世代へ継続的に建設業と接する機会を設ける

《具体例》

◆建設業就職フェア

ゼネコン・専門工事会社への道をつなぐ

◆PR活動

建設フェスティバルの開催や建設業安心安全キャラクターステッカーを仮囲いに貼り安心して暮らせる街づくりを行っていることを伝える

◆よろず相談窓口の設置

建設業関係者だけでなく、一般の人からの疑問も建設のプロがアドバイス

◆講師派遣

実践に向けた知識を蓄え
将来像を具体化

- ・実技講習
- ・職人育成塾
- ・最先端技術の紹介

高校・大学生＝
実現にむけた学習

建設業の
魅力を
伝え続ける

未就学児＝
好奇心

◆絵本プロジェクト

各職種の**カリスマ職人**の「かっこよさ」「面白さ」を絵本で伝え**好奇心を刺激**
安心・安全な産業をアピールし**保護者の心をキャッチ**

◆将来なりたい職業【複数回答形式(3つまで)】※中学生の回答結果を表示

男子中学生(n=100)	%	
1位	エンジニア・プログラマー	24.0
2位	ゲームクリエイター	20.0
3位	YouTuberなどの動画投稿者	17.0
4位	プロスポーツ選手	16.0
5位	ものづくりエンジニア(自動車や航空機など)	13.0
6位	公務員	11.0
7位	学者・研究者	10.0
8位	社長などの会社経営者・起業家	10.0
9位	教師・教員	9.0
10位	医師	9.0

女子中学生(n=100)	%	
1位	歌手・俳優・声優などの芸能人	19.0
2位	絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)	14.0
3位	医師	13.0
4位	公務員	11.0
5位	文章を書く職業(作家・ライターなど)	10.0
6位	保育士・幼稚園教師	9.0
7位	教師・教員	8.0
8位	ゲームクリエイター	8.0
9位	デザイナー(ファッション・インテリアなど)	7.0
10位	YouTuberなどの動画投稿者	6.0
10位	マスコミ関係(記者・TV番組スタッフなど)	6.0

ソニー生命保険

「中高生が思い描く将来についての意識調査2017」より

中学生＝
なりたい職業へ

小学生＝
憧れ

◆なりたい職業上位とコラボ

中学生の「なりたい職業」とコラボし
建設業をアピール

- ・建設街づくりゲーム
- ・建設なるほど動画Youtube投稿

◆出前授業

建設需要に応えられないことは経済発展にも影響する
「大切な産業」であることを伝授

◆社会科見学

建設業を体感

◆建設体験カー

縮小建築での実体験により
「ものづくりの面白さ」を発見